



## パサデナを知ろう!

秦野駅改札口のデジタルサイネージでPR  
9月「パサデナ月間」

皆さん、小田急線の秦野駅改札を出ると真っ先に目に飛び込んでくるデジタルサイネージ(大型の液晶画面)をご存知ですか?

秦野市とパサデナ市の姉妹都市提携が秦野市議会で議決されたのが1964年9月29日。これを記念し、当協会では、9月を「パサデナ月間」とし、昨年は姉妹都市交流のパネル展示を秦野市役所で行いました。今年は、より多くの方々にこの国際交流を知っていただくため、秦野パサデナ友好協会の動画広告が流されました。皆様、ご覧になりましたか?1日平均再生回数100回、9月いっぱい、ざっと3000回も再生されたことになります!

実はあの動画は厳選された10枚の写真で構成されており、こんなストーリーが皆様の心に届きますように〜と祈りを込めて作成されました。

- ①二人の牧師から始まった国際交流
- ②秦野市とパサデナ市の姉妹都市交流の始まり
- ③それから50年が経過
- ④二つの市の固い結びつき
- ⑤あなたもパサデナ市民
- ⑥テキサスの大自然
- ⑦文化や伝統は国境を越える
- ⑧言葉も人種も超えてみんなトモダチ
- ⑨国境を超えた家族の愛と絆
- ⑩笑顔溢れる姉妹都市交流

私たちと一緒に、この素晴らしいストーリーを体験してみませんか?

(研修部部長 野呂香)

### サイネージを見た人の感想を聞きました。

- ・画面が大きく、鮮やかな映像はいいですね。
- ・文字がもう少し大きいと分かりやすいと思います。
- ・交流の様子がスクリーンに映り、新しい試みに期待が膨らみます。
- ・足早に帰宅のためか、見る人が少ないのはちょっと残念ですね。
- ・この動画で、パサデナ市との交流活動が皆さんに広まるでしょうね。

